

要覽

2024



島根県

Shimane Prefectural Government

農林水産部 畜産課

家畜病性鑑定室

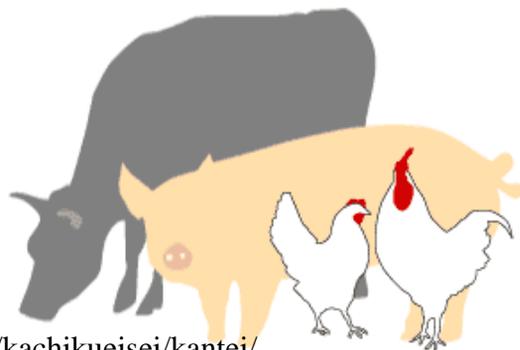


〒699-0822 島根県出雲市神西沖町918-4

TEL:0853-43-2455 FAX:0853-43-2442

E-mail:kachikubyokan@pref.shimane.lg.jp

URL:<http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/kachikueisei/kantei/>



沿革

【設置の目的】

家畜の疾病診断及び家畜の保健衛生に関する試験研究

◆昭和38年8月

出雲市塩冶町に島根県立家畜衛生研究所として創設
業務科・研究科を置き、大田市三瓶町に三瓶試験地を設置

◆昭和42年8月

三瓶試験地が県立三瓶牧場となり科制を廃止
細菌研究室・病理研究室・生化学研究室を設置

◆昭和47年4月

細菌・病理・ウイルス・生化学の4検査室に改組

◆昭和53年11月

出雲市神西沖町の現庁舎に移転

◆平成15年4月

死亡牛BSE検査の実施のため解剖棟を新設

◆平成18年4月

組織改編により農畜産振興課 家畜病性鑑定室に改組

◆平成22年4月

組織改編により食料安全推進課 家畜病性鑑定室に改称

◆平成27年4月

組織改編により畜産課 家畜病性鑑定室に改称

◆令和 2年4月

組織改編により農畜産課 家畜病性鑑定室に改称

◆令和 5年4月

組織改編により畜産課 家畜病性鑑定室に改称



三瓶山



解剖棟

組織

畜産課長

県庁(松江市)

家畜病性鑑定室長

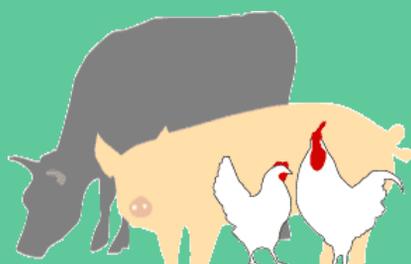
ウイルス検査担当(獣医師)2名

細菌検査担当 (獣医師)1名

病理検査担当 (獣医師)1名

生化学検査担当 (獣医師)1名

庶務・検査補助担当 3名

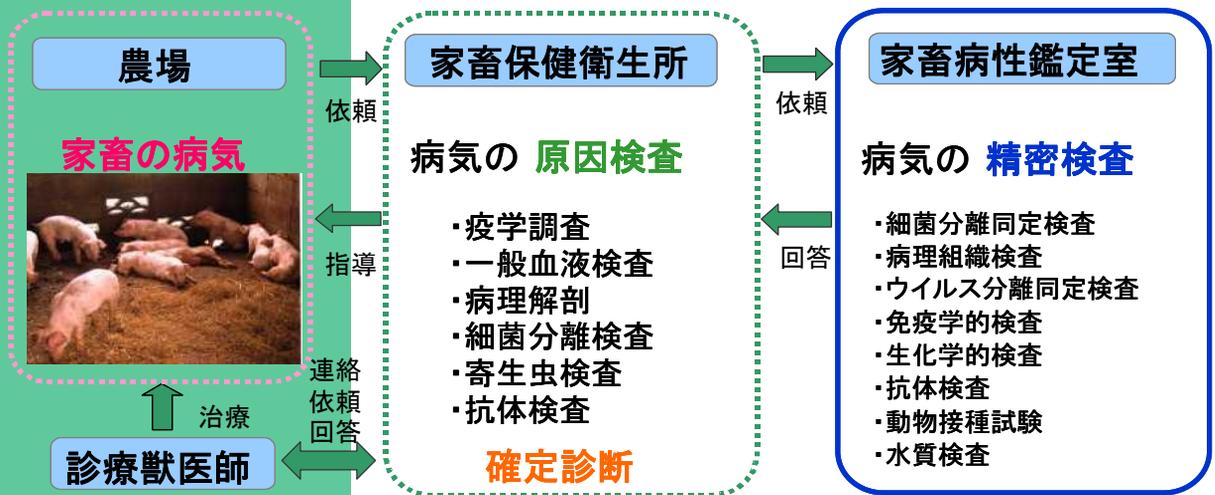


1 病性鑑定

家畜の疾病発生動向の把握と防疫の円滑な推進を図るため、家畜の監視伝染病等の最終判定を行うとともに、必要に応じて農場への立入検査等を実施します。

◆病性鑑定の流れ

家畜に病気が発生した場合、家畜保健衛生所が病気の原因検査を行います。当室においてはさらに高度な精密検査を実施します。これらの検査成績に基づいて、家畜保健衛生所では、確定診断を行い、衛生指導等を行っています。



◆過去5年間の病性鑑定実績

病性鑑定依頼件数

年度	乳用牛	肉用牛	豚	鶏 (野鳥含む)	その他	合計
R01	426	616	15	72	50	1,179
R02	366	641	9	71	34	1,121
R03	343	481	19	68	35	946
R04	305	348	23	67	96	839
R05	338	406	26	70	91	931

病性鑑定依頼検体数

年度	乳用牛	肉用牛	豚	鶏 (野鳥含む)	その他	合計
R01	3,430	4,262	319	6,114	497	14,622
R02	3,193	4,046	225	5,693	138	13,295
R03	4,018	2,221	295	5,674	113	12,321
R04	3,852	1,942	1,044	4,038	318	11,194
R05	4,812	2,771	1,396	4,628	347	13,954

2 試験研究

◆試験研究の基本的推進方向

- 1 重要感染症の診断及び防疫対策の向上
- 2 日和見感染症や生産病等の診断及び予防対策の向上
- 3 家畜衛生の推進及び畜産物の安全性の確保

◆試験研究の概要

1 「牛マイコプラズマ乳房炎対策手法の検討」(R03～R06年度)

目的：酪農場に甚大な経済的損失を招く牛マイコプラズマ乳房炎について、効率的な原因菌の検出法を確立するとともに、関係機関と連携した本乳房炎防除体制を構築する。

2 「家畜伝染病の疾病侵入リスクの低減対策」(R05～R07年度)

目的：有害鳥獣として捕獲された野生動物等から検出される病原体について、生産農場由来株との疫学的関連を明らかにし、重点的に取り組むべき野生動物対策を推進・啓発する。

3 「牛伝染性リンパ腫ウイルス(BLV)対策による子牛価格向上の取り組み

～しまねモデルの確立～
(R06～08年度)

目的：BLV感染牛の簡易迅速診断法を開発するとともにBLV高伝播性変異株の疫学的調査およびウイルス性状に基づく清浄化対策構築を行う。

3 BSE検査

BSE特別措置法に基づきBSE検査を実施しています。

◆BSE検査の概要(R6.4.1現在)

令和6年度から96か月齢以上の死亡牛全頭の検査を廃止し、BSEを疑う症状を呈している牛を標的として、家畜保健衛生所と連携しサーベイランスを実施しています。

検査は、特定症状を呈する牛ならびにBSEが否定できない症状を呈する牛を対象として実施しています。

◆BSE検査実績（過去10年間） 全例陰性

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	計
検査頭数	647	450	477	510	480	179	153	143	163	165	3,367

4 主な調査事業

◆家畜伝染病予防事業

1 全国サーベイランス(発生予察)

アカバネ病・アイノウイルス感染症・チュウザン病・イバラキ病・牛流行熱

県内 75頭のおとり牛の年4回の追跡調査

2 豚熱等の浸潤状況サーベイランス

イノシシPCR検査 R5年度 521頭

死亡・衰弱イノシシ 39頭

捕獲イノシシ 306頭

ジビエ利用イノシシ 176頭

豚熱抗体検査 R5年度 1,486頭

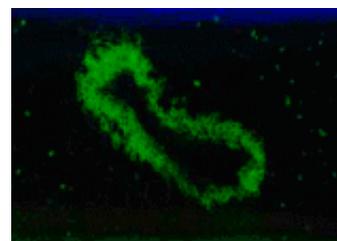
3 高病原性鳥インフルエンザのモニタリング検査

県内 1,000羽以上の飼養農家で特定防疫指針に基づき抽出検査

R5年度検査例数 : 4,480検体

4 ヨーネ病検査(家伝法5条、清浄性確認及び移動・導入牛検査)

R5年度検査例数 : 3,514検体



実験感染豚の豚熱ウイルス感染扁桃FA像



鳥インフルエンザ検査

◆家畜衛生対策事業

1 動物医薬品危機管理対策事業

薬剤耐性菌の発現状況検査 (サルモネラ、黄色ブドウ球菌)

5 その他の検査

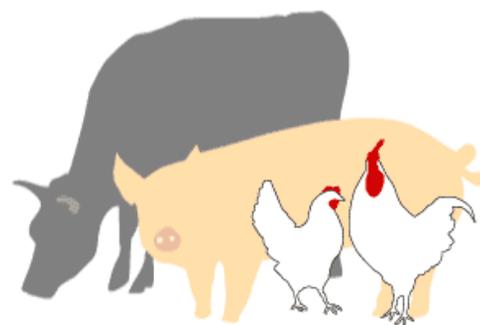
畜産施設等からの排水の水質検査を実施

6 成果の公表

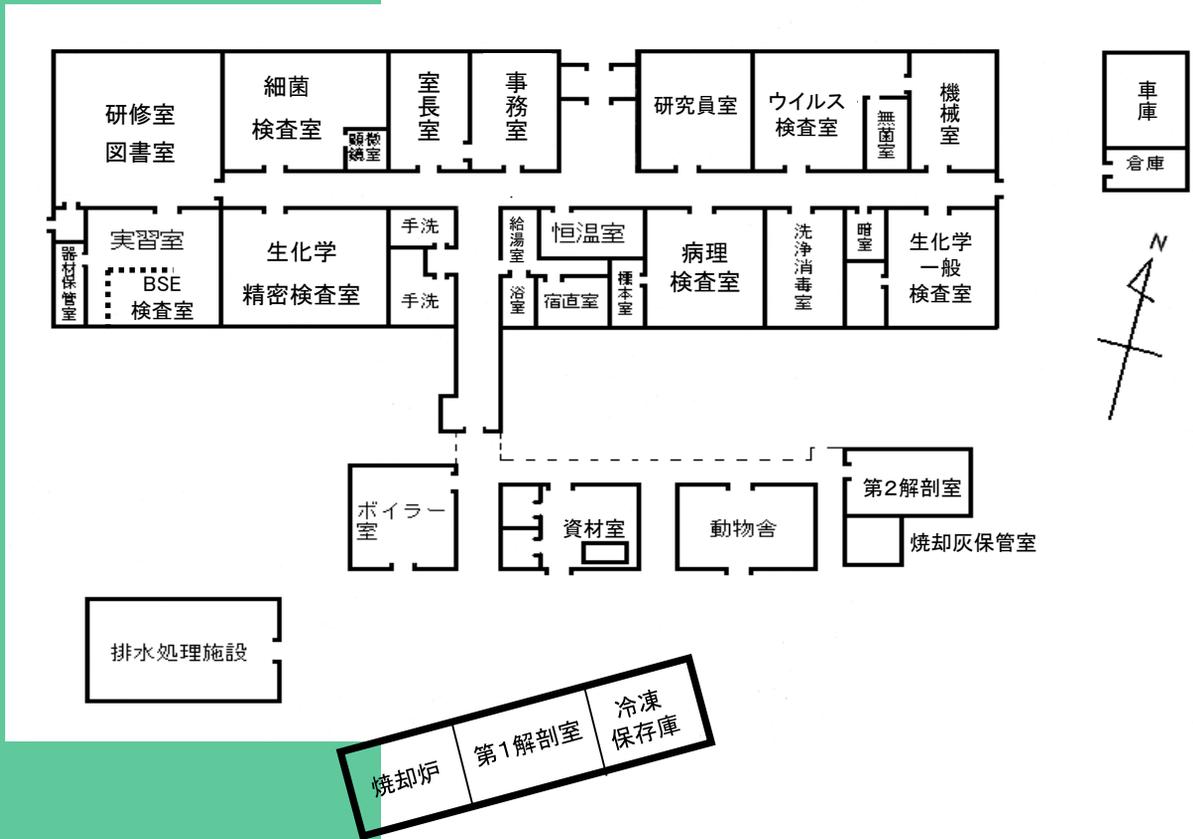
◆畜産技術者及び生産者への技術情報の提供(研修会、HPなど)

◆専門学会等における研究発表

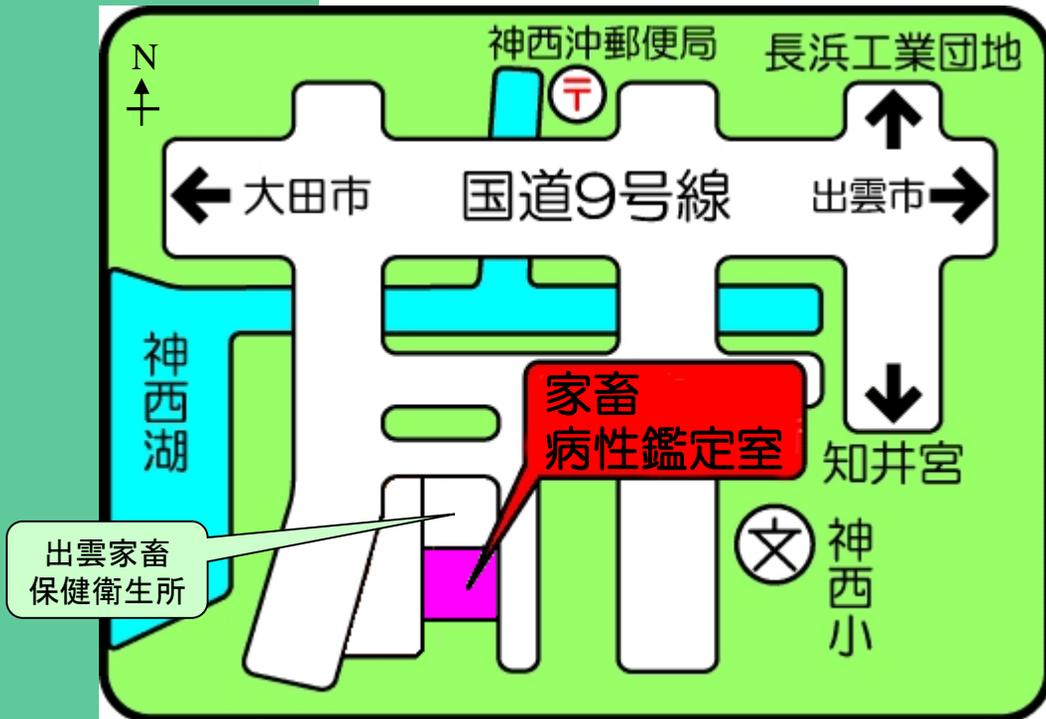
◆専門学術雑誌等への投稿掲載



施設見取図



周辺地図および交通案内



- ◆ JR山陰本線 出雲市駅下車、小田方面バス→神西沖分バス停下車徒歩5分
- ◆ JR山陰本線 出雲市駅より西方へ8km、出雲神西駅から北方へ2km